

クロマトグラフィーで研究開発をサポート

GC/MS、HPLC、高温 GPC による技術支援

- 含有成分を調べることで研究開発、品質管理の高度化に貢献
- プラスチックの分子量測定により受入検査、劣化評価が可能
- 機器の利用方法から測定結果の解釈までサポート

研究目的・内容

ご利用可能なクロマトグラフ装置

- ガスクロマトグラフ[(株)島津製作所]
- ガスクロマトグラフ質量分析装置[(株)島津製作所]
- 高速液体クロマトグラフ[日本分光(株)]
- 高温GPCシステム[東ソー(株)]

このほかにも、繊維、高分子、有機材料、機械、金属材料分野を中心に、新製品の開発や生産技術の改良などに必要な試験研究機器を約300台開放し、ご利用いただくことができます。(有料)

期待される用途

クロマトグラフィーは、物質、分子量によって装置内の管(カラム)を流れる速度に違いがあることを利用して成分を分離する分析手法です。化学薬品・医薬・食品・プラスチック・電子産業、環境分析など分野を問わず様々なところで利用されています。



【特徴】熱をかけて気化する成分の定性、定量分析が可能
【利用事例】ゴム製品中の添加剤の分析、臭気原因物質の特定

ガスクロマトグラフ質量分析装置



【特徴】溶媒に溶かした物質の定性、定量分析が可能
【利用事例】純度の測定、抗酸化物質濃度の測定、添加剤分析

高速液体クロマトグラフ



【特徴】ポリエチレン、ポリプロピレンの分子量測定が可能
【利用事例】再生プラスチックの分子量測定、劣化評価

高温GPCシステム

キーワード

クロマトグラフィー、GC/MS、HPLC、高温 GPC

滋賀県東北部工業技術センター

有機環境係、繊維・デザイン係

上田中 隆志、小西 義法、永濱 毅紘

連絡先： <https://www.hik.shiga-irc.go.jp/access/inquiry/> 0749-62-1492

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任

